

自治体との連携事例

福島浜通り地域の活性化貢献および持続可能なモビリティサービスの構築



人口低密度地域でも持続可能なモビリティサービスのスキームを確立する

モビリティサービスの確立による浜通りの地域活性化

浪江町および浜通り地域の復興や新しいまちづくりの推進には、来訪者の移動手段と合わせて住民の生活基盤となる持続可能なモビリティの確保が必要不可欠です。浪江町では、平成29年3月の一部避難指示解除直後から、住民の移動手段としてデマンド交通を運行していますが、運行経費や運転手の確保など、公共交通の維持が課題となっています。公共交通の維持は、人口減少や高齢化が進む全国の地方部に共通する社会的課題です。これらの地域においては、限られた車両、人材を効率的に活用して運行供給体制を確保するとともに、誰でも便利に利用できるサービスを提供する必要があります。日産自動車は、浪江町と連携し、モビリティによる浜通り地域の活性化への貢献と持続可能なモビリティサービスの構築の実用化開発を行っています。具体的には、運行効率を向上させる「モビリティサービス運行システム」の開発、実証実験によるサービス検証と事業化に向けたスキーム構築、まちの賑わいと魅力をもたらす移動利用機会の創出です。リアルワールドで住民に寄り添いながらモビリ

ティサービスを定着させる取組みが、この実用化開発の特徴です。例えば、配車に使用するデジタル停留所やスマートフォンアプリは、住民の方にも試作品を評価してもらい、地域のニーズにあった、高齢者も含めた誰でも簡単に操作可能なインターフェースを実現しています。2021年11月から「なみえスマートモビリティ」として実証運行し、多くのユーザが利用しています。まちの賑わいは、行政や企業活動だけではなく、住民や来訪者、まちづくり団体との対話から生まれます。まちづくり活動拠点として、「浜通り地域デザインセンターなみえ」をJR浪江駅近くに開設し、誰でも自由に立ち寄れる施設として活用されています。対話から発展したアイデアがまちづくりイベントとなり、モビリティサービスが参加者を運んでいます。このような取組みによるサービスが評価され、2022年度グッドデザイン賞を受賞、さらにグッドデザイン・ベスト100、グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン]に選出されました。



デジタル停留所は、まちをモチーフにしたイラストで見ただけでもわくわくを演出

地域経済循環までの道のり

日産自動車と浪江町は2018年から具体的な協業がスタートしています。フォーアールエナジー社の事業所が操業を開始し、電気自動車向けバッテリーの再製品化を行っています。2021年2月には、浪江町、南相馬市、双葉町の3自治体と日産自動車を含む8企業と「福島県浜通り地域における新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」を締結、約2週間のモビリティサービスの実証実験を行いました*。そして、令和3年度より実用化補助金事業を活用して持続可能なモビリティサービスの実用化開発に挑んでいます。

なみえスマートモビリティの車両運行は、地元交通事業者3社が行っています。2023年1月からは有償運行に移行し、浪江町や浜通り地域で事業化するためには、どのような運営体制や役割分担が望ましいのかといったスキーム検討を進めています。

まち全体が元気になるには、人の移動だけでなく、モノの移動も重要です。連携協定メンバーであるイオン東北や日本郵便とも協働して、買物した荷物も運ぶ“貨客混載”のサービス検証も行いました。

人の移動をさらに活発にする取組みも行っています。タブレット端末型のミニデジタル停留所を宿泊施設や飲食店、公共施設に設置し、来訪者がユーザ登録しなくても、町内を回遊できるようにしました。町のビジネスオーナーも巻き込んだ事業化も検討予定です。また、子どもが安全、安心に外出でき



るような移動サービスのトライアルも実施しています。ビジネスオーナーとの協業により、まちや地域の店舗や企業の事業に好影響を及ぼすことが期待できます。移動利用機会も促進し、消費活動が活発になることによる経済効果の醸成を目指しています。

新しいモビリティを活用したまちづくりへ

「福島県浜通り地域における新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」では、浜通り地域の3自治体は、各社が持つ資源や先端技術を生かしながら、震災復興と持続可能な未来の“まちづくり”の実現を、地域住民とともに目指しています。

住民にとっては、モビリティサービスによる便利な移動で生活の質が向上、企業にとっては地元事業者の機会創出、新ビジネス領域、先端技術の適用といった機会が生まれ、行政にとっては、移動サービス予算の削減、地域の賑わいの創出、復興推進につながる、三方よしの実現を目指しています。

浪江町をはじめとした市町村への点としての地域実装から、市町村間の点と点をつなぐ線へ、さらに他地域への展開といった面の広がりを目指して実用化開発に取り組んでいます。

* 経済産業省地域新MaaS創出推進事業先進パイロット地域募集事業

企業情報 日産自動車株式会社

住所 〒220-8623 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地
〒979-1521 福島県双葉郡浪江町権現堂上続町12
朝田ビル4F 日産浪江町事務所

創業 1933年12月26日

社員数 23,166名(単独)

TEL 045-523-5523(本社)

URL <https://www.nissan.co.jp/>

事業内容

「他がやらぬことをやる」という創業以来の精神のもと、革新的な技術や商品を生み出すことに情熱を注ぎ、絶え間ない挑戦を続けてきております。モビリティの先にあるものを見据え、人々とクルマのあり方や生活を豊かにするため、新しい価値を生み出してまいります。

